【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年10月16日(2024.10.16)

【国際公開番号】WO2022/098592
【公表番号】特表2023-549088(P2023-549088A)
【公表日】令和5年11月22日(2023.11.22)
【年通号数】公開公報(特許)2023-220
【出願番号】特願2023-526277(P2023-526277)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　5/32(2006.01)
Ａ６１Ｍ　5/20(2006.01)
Ａ６１Ｍ　5/31(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　5/32　５１０Ｋ
Ａ６１Ｍ　5/20　５００
Ａ６１Ｍ　5/31　５２０

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月7日(2024.10.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
薬物送達デバイスアセンブリであって、
近位端、遠位端、前記近位端と前記遠位端との間に延びる長手方向軸を有する本体と、前記遠位端に隣接して配置され、且つ伸展位置と後退位置との間で移動可能な針シールドとを有するインジェクタハウジングと、
前記本体内に少なくとも部分的に配置された針アセンブリであって、薬剤及び針又はカニューレを収容するシリンジバレルを含む針アセンブリと、
前記本体内に少なくとも部分的に配置され、且つ注射シーケンス中に前記針又はカニューレを通して前記薬剤を押し出すために前記針アセンブリと動作可能に結合された駆動アセンブリと、
針シールドインジケータアクセサリであって、
前記インジェクタハウジングと選択的に結合されるように構成されたアクセサリ本体、及び
前記針シールドが前記後退位置にあるか否かをユーザに示すように構成された針シールドインジケータ
を含む針シールドインジケータアクセサリと
を含む薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項２】
前記針シールドインジケータは、前記針シールドが前記後退位置にあるとき、フィードバックを前記ユーザに提供するように構成されたフィードバックコンポーネントを含む、請求項１に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項３】
前記フィードバックコンポーネントは、第１の位置と第２の位置との間で移動可能である、請求項２に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。

【請求項４】
前記フィードバックコンポーネントは、前記針シールドが前記後退位置にあるとき、前記ユーザに、（ａ）視覚インジケータ、（ｂ）聴覚インジケータ、又は（ｃ）触覚インジケータを提供する、請求項２又は３に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項５】
前記針シールドインジケータは、前記ユーザに接触するように構成された接触面を含み、前記接触面は、伸展位置と後退位置との間で移動可能であり、前記接触面の前記後退位置は、前記針シールドの前記後退位置に対応する、請求項１～４のいずれか一項に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項６】
前記針シールドインジケータは、前記ユーザに接触するように構成された接触面を含み、前記接触面は、伸展位置と後退位置との間で移動可能であり、前記接触面の前記後退位置は、前記針シールドの前記後退位置に対応し、前記接触面は、前記接触面が前記後退位置にあるとき、前記フィードバックコンポーネントをトリガするように構成される、請求項２に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項７】
前記アクセサリ本体は、前記針シールドの直径よりも著しく大きい直径を有する遠位部分を含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項８】
前記針シールドインジケータは、アクセサリ基準特徴部を含み、前記インジェクタハウジングは、インジェクタ基準特徴部を含み、前記アクセサリ基準特徴部と前記インジェクタ基準特徴部とは、前記針シールドが前記後退位置にあるときに整列される、請求項１に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項９】
前記インジェクタハウジングは、薬物表示窓を含み、前記インジェクタ基準特徴部は、前記薬物表示窓の少なくとも一部によって画定される、請求項８に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項１０】
前記アクセサリ基準特徴部は、前記薬物表示窓の前記一部と同様の形状を有するカットアウト部分である、請求項９に記載の薬物送達デバイスアセンブリ。
【請求項１１】
薬物送達デバイスのための針シールドインジケータアクセサリであって、
インジェクタハウジングと選択的に結合されるように構成されたアクセサリ本体と、
インジェクタ針シールドが後退位置にあるか否かをユーザに示すように構成された針シールドインジケータと
を含む針シールドインジケータアクセサリ。
【請求項１２】
前記針シールドインジケータは、前記インジェクタ針シールドが前記後退位置にあるとき、フィードバックを前記ユーザに提供するように構成されたフィードバックコンポーネントを含む、請求項１１に記載の針シールドインジケータアクセサリ。
【請求項１３】
前記フィードバックコンポーネントは、第１の位置と第２の位置との間で移動可能である、請求項１２に記載の針シールドインジケータアクセサリ。
【請求項１４】
前記フィードバックコンポーネントは、前記インジェクタ針シールドが前記後退位置にあるとき、前記ユーザに、（ａ）視覚インジケータ、（ｂ）聴覚インジケータ、又は（ｃ）触覚インジケータを提供する、請求項１２又は１３に記載の針シールドインジケータアクセサリ。
【請求項１５】
前記針シールドインジケータは、前記ユーザに接触するように構成された接触面を含み

、前記接触面は、伸展位置と後退位置との間で移動可能であり、前記接触面の前記後退位置は、前記インジェクタ針シールドの前記後退位置に対応する、請求項１１～１４のいずれか一項に記載の針シールドインジケータアクセサリ。

【請求項１６】

前記針シールドインジケータは、前記ユーザに接触するように構成された接触面を含み、前記接触面は、伸展位置と後退位置との間で移動可能であり、前記接触面の前記後退位置は、前記インジェクタ針シールドの前記後退位置に対応し、前記接触面は、前記接触面が前記後退位置にあるとき、前記フィードバックコンポーネントをトリガするように構成される、請求項１２に記載の針シールドインジケータアクセサリ。

【請求項１７】

前記アクセサリ本体は、前記インジェクタ針シールドの直径よりも著しく大きい直径を有する遠位部分を含む、請求項１１～１６のいずれか一項に記載の針シールドインジケータアクセサリ。

【請求項１８】

前記針シールドインジケータは、アクセサリ基準特徴部を含み、前記インジェクタハウジングは、インジェクタ基準特徴部を含み、前記アクセサリ基準特徴部と前記インジェクタ基準特徴部とは、前記インジェクタ針シールドが前記後退位置にあるときに整列される、請求項１１に記載の針シールドインジケータアクセサリ。

【請求項１９】

前記インジェクタハウジングは、薬物表示窓を含み、前記インジェクタ基準特徴部は、前記薬物表示窓の少なくとも一部によって画定される、請求項１８に記載の針シールドインジケータアクセサリ。

【請求項２０】

前記アクセサリ基準特徴部は、前記薬物表示窓の前記一部と同様の形状を有するカットアウト部分である、請求項１９に記載の針シールドインジケータアクセサリ。